

講 演 会

「糸魚川 - 静岡構造線が生み出した自然資源と魅力」

南アルプスは3,000m級の山々からなり、この山地の形成には糸魚川-静岡構造線と呼ばれる日本列島を東・西に二分する大きな断層が関係しています。北米プレートとユーラシアプレートの境界部に誕生した南アルプスは、特有の気候の影響を受け、谷は深く浸食され、一方で豊富な動・植物が分布しています。この機会に南アルプスの山々に、しばしば足を踏み入れている、南アルプス自然保護官事務所の国立公園レンジャーに、南アルプスの山々や動植物の現状を分かりやすく、説明していただきます。



布引山と筑ヶ岳

◎日時 令和7年8月30日（土）午前10時～午前11時30分

（受付は午前9時30分から）

◎会場 早川町役場 2階会議室 （住所：早川町高住758）

◎参加料 無料

◎ 演 題

・ 「環境省レンジャーが見た南アルプスの自然」

・・・・・・（環境省南アルプス国立公園レンジャー 藤田和也氏）

問い合わせ先：日本上流文化圏研究所（電話：0556-45-2160, <http://www.joryuken.net/>）

:メール info@joryuken.net

主催：日本上流文化圏研究所

糸魚川 - 静岡構造線資源活用プロジェクト in 早川